

小川一眞 いっしん 寫眞師。萬延元年八月十五日武藏國生れ、昭和四年九月七日歿（二八六の一九元）。舊姓原田、幼名朝之助。明治六年上京して英語等々學ぶ。また寫眞術を習得し、群馬縣富岡に寫眞館開業。十五年アメリカに渡り最新の寫眞術を學んで歸國。二十一年帝國大學工科大学のイギリス人教授バルトンと日本寫眞會を創設。明治天皇崩御の折には新聞社、雜誌社、通信社、寫眞師組合の組織した御大喪會簿謹寫團の依囑を受け、撮影の當るほど、當代日本の代表的寫眞師。四十二年帝室技藝員。

寫眞帖 いっしん、増補『東京名所』（明治二十七年九月）二十三日小川一眞出版部）、『御大喪儀寫眞帖』（大正元年十月十五日御大喪會簿謹寫團體藏版、小川一眞寫眞部）等。

